



Light Up Rotary

第2780地区
大磯ロータリークラブ



2014～2015年度RI会長
ゲイリー-C. K. ホアン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 守屋 紀忠

会長エレクト 河本 親秀

幹事 井上 浩吉

第2329回 例会 平成27年6月4日 (晴) No.43

■司会：大藤 勉

■点鐘：守屋 紀忠

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム ・6月11日：米山奨学生 アルウィンス[®]リアント様 ・6月18日：夜間例会、納会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2329回	17(15)	10	66.67%	—	—
2327回	17(15)	8	53.33%	—	—

◇欠席者(5名) 小林、宮澤、石山、原
笹尾さん

◇メークアップ(0名)

◇会長報告

守屋 紀忠会長

伊勢原平成RC創立25周年記念誌

1. 5月24日美化キャンペーン参加有り難うございました。滄浪閣前に集まったのは6名＋米山奨学生アルウィン君。その他の皆さんは各自の地区で清掃作業に従事。



2. 6月になりました。昨日西日本は梅雨入りしました。東日本も数日の内に梅雨入りしそうです。体調に気をつけて下さい。

3. 例会後モロキニにおいて理事会を開催します。理事の皆様参加をお願いします。

4. 来週は米山奨学生のアルウィン・スプリアント君が来ます。奨学金授与と自己紹介卓話があります。

◇幹事報告

井上 浩吉幹事

幹事報告：井上浩吉幹事

1. 2015年6月のロータリーレートは1ドル118円です。
2. 例会変更：平塚西RC
3. 回覧：週報寒川RC、

◇一言：大磯の歴史：

＝曾我の仇討ちと高麗の善福寺＝

井上浩吉さん



善福寺の出来たのは親鸞聖人のおられた鎌倉時代です。鎌倉時代大磯で名を残したのは曾我兄弟です。兄が十郎祐成、弟が五郎時致の兄弟

が幼い頃父親(河津祐泰)が工藤祐経に暗殺され、以来親の敵と付け狙っていたのですがなかなか果たせなかった。そのうち母の満江が曾我祐信に再嫁し、姓が河津から曾我に変わり曾我十郎祐成、曾我五郎時致となりました。

二人は神奈川県梅の里曾我で育ちました。たまたま源頼朝が富士の裾野で巻狩りをした時に敵を討ちました。その時に十郎は討たれてしまいますが、五郎は捕まりまして鎌倉に連れ行かれて折檻を受けましたが、なかなかの豪傑で言う事をきかなかった。兄の十郎祐成は大磯の遊女の虎(虎御前)との間

に一子をもうけていました。ところが仇討ちをしたので命を狙われます。それでこの子供が名前を変えて坊主になってお寺に修行に入りました。その時に名乗ったのが「伊東」という姓です。「伊豆の伊東」です。この子供が成長して入ったのが高麗の善福寺でした。曾我十郎祐成の子供が善福寺の蹟をとったと言うお話しです。現在も善福寺は伊東を名乗っています。

◇委員会報告

☆スマイルボックス

太田 知加子さん

・守屋紀忠さん：斎藤正淳さん卓話よろしくお願ひします。

井上浩吉さん：斎藤先生卓話よろしくお願ひします。

・河本親秀さん：斎藤ドクター卓話楽しみです。

・百瀬恵美子さん：斎藤先生卓話卓話楽しみです。

・太田知加子さん：斎藤ドクターのお話 楽しみです。

・田中敏治さん：斎藤先生、卓話宜しくお願ひします。



☆河本会長エレクト：

1. 次年度の委員会活動計画書提出有り難うございました。総て揃った訳ではありませんが、来週までに纏めたいと思います。この計画書の検討のため来週の例会後約1時間、意見交換致したく、次年度理事・役員の皆様お時間を割いて下さるようお願いいたします。

2. 次年度の会報のヘッダのデザインとカラー、現在このような原稿が来ております。来週までにカラーを決めたいと思います。

3. ハワイ・ワイアナエ・コーストRCのケイ・バクスターさんから4月2日の例会会報の英語全訳文を送って来られて、チェックして意見を欲しいと言われています。毎月1回、大磯RCの会報の翻訳をクラブの皆さんに配って大磯RCを知って貰うようにしたいと言うことです。ケイさんの熱意には感服します。何らかの返事を出します。

☆新宅奉仕活動委員長：

1. ステパノ学園の小学校の校舎を建て直すために寄付を募っています。寄付の一覧表によると、大磯

ガイド・ボランティア協会、明治大学の大磯駿台会等があります。大磯商工会や観光協会にも呼びかけています。

2. 30年ほど前にハワイへ行ったことがあります。その時にハワイで発行している日本語の新聞がありました。昭和時代ですが、明治の人が読むような言葉使いでした。今でもそういった保守的というか前時代的な日本語の新聞があるか、あれば見てみたいなあと思います。時代が変わりましたので、今でも日本語の新聞があるのかどうか？今、国では教育再生会議などを一生懸命やっています。大磯町でもこのままではいけないと教育委員会で検討しています。私から提案しました：是非ハワイの新聞を取り寄せてはどうか？祖国を離れた人間の祖国思いは凄く強いと思うんですね、日本人で日本にいる人は平和が当たり前ですし、生活して行くのは当たり前だと思って何の感謝もしないですが、自分の国を離れている人は自分の国が栄えて欲しいなと思う気持ちは強いと思います。是非ハワイのそういった日系の新聞があれば取り寄せて欲しい。



◇卓話

◆◆◆次世代に伝えたい事◆◆◆

斎藤 正淳さん



私にもロータリーに入った義務の一つとして昔の大事な話を若い人達に引き継いで行くことがあると思います。自分の目を見た事を、自分の経験を若い人達に引き継いで行く事が大切です。昭和一桁の人が少なくなっていく。鈴木さんが亡くなったりして

…。今日は思い出しながら話そうと思います。

色んな情報を新聞やマスコミ経済誌などから得ますが、その情報そのものの話ではなく長年経験し、自分自身が感じた情報をお話しします。

戦前の日本国民の意識

戦前は私は小学生でした。一番の大きな事は日本は何故戦争したのかと言うこと。どこからその原因が始まったかと言うことです。大抵の新聞は軍部が悪いと言います。しかし昭和16年開戦するまでの国民の殆どはそれを望んでおりました。何故かと言うと昭和4年に世界の大不況(ウオール街の大暴落)によって日本は全くの就職難になりました。「大学は出たけれど」という映画が出来ました。東大卒業生の3分の1は就職できない。まして他の大学の学生は殆ど就職できない。私の叔父などはその頃卒業して苦労したと言っています。ところが昭和6年頃から満州に問題が起きてきて満州事変が始まりました。戦争は始まったんですけど景気はよかった。就職難がなくなった。そうなるも行け行けドンドンとなっていた。松岡洋右が「満蒙は日本の生命線」と言った。当時の世界は経済流通をセクト主義にしていた。アメリカはモンロー主義：南北アメリカで製品を売り買いする。それ以外からは輸入を制限する。イギリスはスターリング・ポンド地域＝英領植民地＝インド、カナダ、オーストラリア＝とは自由貿易するがそれ以外からは関税を高くする。フランスはフランの特殊な地域を作る。日本は遅れて参加したから、ものを売る場所がない。買ってくれない。そのために満州、蒙古、朝鮮、台湾を地域した。ものが売れないと日本の景気はよくなる。その時に「満・蒙は日本の生命線」と言われた。「赤い夕日の満州へ」と言う言葉は華やかな未来が予想される。もう一つ言われたのは、日清・日露戦争で祖先が流した血＝何万人も命を失った＝の地を失ってもよいのか！この文句は全国民に受ける訳です。将来の希望もある、死んだ祖先の地を失うな！満州事変は国民に否定されるのではなくて肯定された。新聞はみんな私立で競争して勝った勝った！と景気のよい話を載せると新聞が売れる。販売部数がドンドン上がる。当時の大きな新聞は大阪毎日、大阪朝日、東京日日新聞、東京朝日。読売は後発でした。特に毎日と朝日が競争をして部数を伸ばし始めた。部数を伸ばすと景気のよい事がある。当時日本からロンドンに向けて単発の飛行機を飛ばす。その飛行機が如何に早い日数でロンドンに到着するか？如何に世界記録を達成するか？それを煽って賭までやる。どれだけ早く着くか募集をする訳です。朝日、毎日が負け

じと互いに競った。

＝マスコミのプロパガンダ＝ 戦中の国民意識

支那事変が始まって戦争に入ります。そうすると日本軍が勝った！勝った！の報道を特派員を出して、写真入りでどちらが早くそれを掲載するか競争をする。フィルムを送るために飛行機を使う。そういうところで各新聞社が持っている飛行機を使った。こういうものを見ている内に国民の気持ちがワッと高揚しました。私たち小学生でもやっている事は正しい事で、日本を発展させるためにそれはしょうがないのではなくて、やるべきなんだという考えになっていました。我々の親もそうです。

昭和16年にアメリカと戦うまでに、如何にイギリス、アメリカ、フランスが我々アジアに対して如何に悪い事をしたか＝植民政策＝植民地を解放するのが明治維新以来日本が近代化してきた事の最後の仕上げであると言う概念をマスコミを通して教えられたし、学校でも教えました。私たちはその中で純粋培養で育ったのでそう思っていました。今の北朝鮮を外から見ていると、あの金さんの話だけを信じて間違った教育をしていると思っている。しかしその土地の人にとってはそれしかない。金日成が死んだ時、北朝鮮の人達は皆泣いて土を叩いて悲しんだとニュースで流れてくると、「あれはマスコミのためにやらされている」と言われるが、私はそれは本当だと思う。そういう教育を受けていればそうなるんです。日本で、もし戦争中に天皇が死んだら我々も土を叩いて泣いたでしょう。腹を切る人も出るでしょう。教育の効果は恐ろしいもので、金日成が死んだ時の北朝鮮の嘆き方は決してインチキでなくて心の底からそう思っているのです。それはプロパガンダによります。そのプロパガンダによる影響が如何に強力かということ了他から客観的に見ていけば分かります。しかし主観的に見ている人には全く分かりません。

世の中を客観的に見るには

これから先世の中の事を客観的に見るにはどうしたらよいか？一つ具体的に申します。私は東京に引っ越してから新聞を7紙とっています。毎日、読売、朝日、東京、日経、産経を取っています。暇がありますから読み比べると新聞がどのような立場で言っているか分かります。決して同一ではありません。新聞は私たちはこの線に沿ってやっていますとは言わないで、私たちは公正中立でやっていますという。私はこの線で行っていますと言えば良いんですが、公正中立と称して勝手な事を言っています。読み比

べるとこの社はこうだというのが分かります。

戦前の事は、この戦争は今でこそ日本の陸軍がやった。悪いのは軍人だと言いますが、当時の日本人は殆どが踊らされていた。私は小学校の3年生でしたが、暗かった世の中がぱっと明るくなった。大人もそうでした。日の丸を揚げてわっしょい・わっしょいとやっていました。

戦後の野坂参三の顛末：

それから戦争が終わりますね、マスコミは一変して別の報道をする訳です。その中で特筆したいのは昭和21年に共産党の書記長をやっていた野坂参三、戦争中彼は中国共産軍に入って延安にいて、そこから日本の兵隊に対して降伏しなさい、今の軍国主義はいけなさいと言っていた。当時の日本人にとってはとんでもない人です。戦後彼が日本に帰って来て博多に上陸しました。その時の日本の新聞は凱旋将軍扱いで、一面全ページ野坂参三大歓迎。国中挙げて大歓迎でした。マッカーサーが来た時より凄かったですよね。朝日、毎日、読売全部が如何に彼が戦時中苦労して日本人の誤っていた事を直そうとしたか。これから日本を立て直す人はこの人だと言っていた。その野坂参三が後どういう扱いを受けたか。彼は共産党の議長を24年やりました。宮本憲治、不破哲三が書記長の時までにはよかったが、1992年週刊文春の連載記事で、ソ連からお金が出ていたとなった。それで彼は日本を売っていたとして日本共産党から除名された。

原水爆禁止運動：

原水爆禁止運動が始まった。日本人誰でもが大賛成です。8月6日の広島、9日の長崎、国を挙げて黙祷する事に誰も異議を唱える者はない。この運動が高まって行ったところで二つに分裂。原水爆禁止日本国民会議(原水禁)、原水爆禁止日本協議会(原水協)の二つです。この二つは絶対会わない。広島、長崎でそれぞれ別々にやる。そこへ各国は使節団を送ってくる、一方はソ連、一方は中国。ソ連は共産党、中国は社会党でした。これが約20年続きました。今は両方ともなくなった。

20数年経って、各国が公文書を公開しています。それによるとソ連は共産党へ、中国は社会党へ金が渡っている。当時は分からなかった。私は子供でしたが原爆はいけない、しかし共産圏の原爆は良いというのはおかしい論理的ではないと思いました。ところが当時はそれが通っていました。新聞が平和を保つために原爆を持っているから良いと言うんです。それはおかしいと言った人がやられるといった事がありました。時勢に流されるというのはそういう事

です。

全面講和と単独講和とは：

その時、偉いと思うのは吉田茂さんがアメリカとの平和条約を結ぶ時に、これ以上要求しても纏まらないから手を打ちました。昭和24年に講和条約を結ぶ時に新聞はこう書きました。「全面講和か単独講和か」全面講和は米・英・フランス・ソ連・中国を入れての講和条約＝単独講和とはソ連等共産圏を除く講和の事＝共産圏の国とはソ連、ポーランド、チェコの3カ国です。吉田さんは共産圏を除く46カ国と講和条約を結びました。新聞の言う単独講和とは真っ赤な嘘です。我々はそういう事を良く知る事が必要です。

憲法改正問題：

今もそういう事が出てきています。憲法改正論議の時、自衛隊出動の時にそういう言い方が始まっています。「戦争をやるようにするための法律か？」と言う言い方です。「戦争をやる方かやらない方か」という事になれば皆やらない方に行ってしまう。そういう時に間違った事が過去に一杯あります。

外国の情報の摂取：

どう判断するかについて国内だけの判断では分からない。外国のものを読む方が良いけれど語学がなければ読めない。最小限我々が出来る事は今衛星放送で外国から出ているニュースを見る事。NHKの衛星放送でイギリス、フランス、ドイツなどのニュースを流します。それを見ると我々が知らない事が結構あります。それを見ると日本の新聞には一行も書いてない事があります。

疑って掛かる事が必要ですが、何もかも疑う訳には行きませんが、長い間同じ中に漬かっているとそれが本当に思えてきます。私なんかも戦争中は軍国少年でした。アメリカ、イギリスは今までアジアを酷い目に遭わせてきたんだ、勝てるとは思いませんでしたが彼らが敵前上陸してきたら戦わなければと言う気になっていました。それは嫌々ながら言っていたのではなかった。兄たちが戦争に行くにも応援して旗を振って・・・本当の気持ちはそうでした。

歌とか音楽も役に立つ。日本が戦争を始めました。その時日本の作曲家達は戦争の意識を高揚する歌を一杯作るんです。それを歌いながら1時間も歩いたり歩調を取って行進している内にその気になってしまふ。そしてお国のためにと行ってしまふ。周りも反対意見を言い出し難くなる。これから若い人が自分の独自路線を客観的に考えようとするならばそれを何かと疑う事。それから日本のプロパガンダだけ

じゃなくて他の情報を知る事。戦争中でも短波放送を聞ける人は正しい情報を知っていました。ただ見つかりと憲兵隊に捕まるので大変です。軍人で外国の短波放送を命令で聞いている人がいました。そういう所から漏れてくる事もあります。

複数の新聞を読む事：

国内で出来る事は新聞を選ぶ事です。朝日新聞或いは産経新聞を30年も採っていると奥さんも子供も皆そういう頭になってきます。それが標準と思うようになります。出来れば2紙読む事をお勧めします。一番左翼的なのは東京新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日経新聞、産経新聞の順です。2紙なら日経と産経。1紙なら日経新聞がよいでしょう。それと海外ニュースを衛星放送などで見る事。ギリシャがユーロを脱退するかどうかと言うような事は日本の新聞では殆ど出てこない。英・独・仏のテレビを見ていると相当な話題になっています。ギリシャは6月中に2回大きな返済が出来なければユーロ脱退という事になるかも知れない。それと中国の不動産投資が静まって成長が低くなってきており、それが株にどのような影響を及ぼすか？出来るだけ主観だけに頼らずにアンテナを拡げて行く事がこれからの人生に必要です。

講和条約と安保条約闘争：

世の中に流れというものがあります。樺美智子さん(1960年国会前の安保条約反対闘争デモで死亡)という方がいました。昭和34-35年にかけての安保反対運動。安全保障条約を結んだのは吉田さんです。これを結ばなければ平和条約を結べなかった。アメリカは日本から撤退する意思はありません。講和条約を結ぶとアメリカはすぐ日本から撤退しなければならない事になる。それを避けるために安保条約を結ばねば講和条約を結べなかった。従って吉田さんは両条約を結びました。講和条約にサインした人は5人います。吉田さん、池田さん、民社党代表もいます。しかし安全保障条約を結んだのは吉田さん一人です。吉田さんは反対する者がいるから、これは俺一人の責任でやると言って一人でサインしてそして講和条約を結ぶ事が出来た。これについて東大総長南原繁は吉田茂の単独講和反対、全面講和を主張した。新聞は49カ国か46カ国かを知りながら単独講和と全面講和と言う言い方を通した。吉田さんが結んだ安保条約は一方的なもので無期限の駐留というものであった。10年後、岸さんが改訂してより平等なものにした。吉田さんのものよりよほど正しいものです。当時私は医学部を出てインターンでした。その時の風潮はとんでもない岸反対！岸を殺せ！そ

れが渦のようになっていました。

時流＝マスコミ＝に流されないように：

丁度10年前小選挙区制が話題になっていました。中選挙区制だから汚職が起こる、小選挙区制にすればそういう事がなくなると言っていた。それが今はどうですか？あの当時反対したのは小泉さん一人です。小選挙区にしても不正はなくなりません。又中選挙区制に戻そうと言っている。時代の流れを作のがプロパガンダ、マスコミです。それに乗っからない目を持っていないとこれからの日本は危ない。

私は子供の頃からそれを見ているとやはり流される。その時に正しいと言うことにはもの凄いい勇気が要ります。せめて僕たちが出来た事はデモに参加しなかった事。皆流行のようにデモに行きました。デモに行くと女にもてるんです。樺美智子が日本史専攻でありながら何故そんなところへ行ったのか？安保条約の条文をよく読めば岸さんの報が正しいと分かるのに＝岸さんは30年後に評価されれば良いと言っている＝。新聞記者になっている人はそれを承知で書く。それが怖い。それを承知しないで書いたとすれば阿呆です。誰が読んででも不平等条約を平等に直す正しいやり方である。皆は読みません。今衆議院で話題になっている憲法改正する前の自衛隊の派遣をどうするかという討論会を聞いていますか？その中のエッセンスだけ見えています。このエッセンスを出すのがマスコミです。それがあの方針の下でやられた一方的な書き方になってしまいます。それを深く考える必要がある。北朝鮮の現状は一発間違えば日本もそうなるという事です。

戦争中に叫んでいた作家、政治家がいます。音楽家(軍歌)、絵描き(戦争の絵)もいました。この人達の中には強制されてそうなった人もいるでしょう。しかし本当にそう思った人もいたでしょう。その人達が悪いのではなく、皆そう思っていたのです。それが戦後になって、皆はあれは失敗だったと思った。その時そうだった人を糾弾するのもあまり良い事ではありません。一番困るのは、「その時俺は反対していた」と言っている人達が戦後大きな顔をしている事。一番酷いのは向坂逸郎(九州大学経済学部教授)、社会党左派を指導した人です。戦争中追放になり戦後帰って経済学部を再建しました。彼が三井三池の闘争を指揮した。社会党左派は彼が創ったようなものです。彼は共産主義に凝ってしまっただけ俺はロシア人になりたいと言った人です。そんな人に政治経済史を習ったんですが、高校で習ってきたのと全然違う事を講義していました。そのうちデモだデモだと言われている内に学生はだんだん染まってし

まう。

デモの体験：

一度デモに言ってみようと思いました。当時色々なデモがありました。その一つにアメリカの戦闘機が板附基地から朝鮮へ飛び立って九州大学工学部に墜落した。被害者は出なかったが校舎の壁にへばりついた機体を引き取りに来るアメ公を入れるなど言うデモがあった。アイゼンハウアーが日本に来て岸信介に会う前段としてハガチーという秘書が日本に来て羽田から首相官邸に着く前にデモに捕まってしまった。車から出られない。遂にアメリカのヘリコプターが来て助け出下。それを見て日本に来るのは危険だと言うことで訪日が中止になった。全く意味がないのですがデモはファッションだったんです。デモに行って先走った同期生が警官隊に捕まると次の教室に帰って来た時にあのクラスメートの誰々を助けようと呼びかける。誰も反対する奴はいない。先ずカンパ、10円でも20円でもカンパする。これを届けに行く時皆で行こうとなる。半分以上いないと休講になるので皆行こうとなる。

私が実際に行ったのは立川の空軍基地でした。今は公園になっている。そこを北＝砂川＝に少し拡張するとなったら沢山の連中がデモに来て衝突が起こる。医学部は救助隊を出す。警官隊でもない、こっち側でもない。どっちでも怪我をした人を助けようと言う事でした。それならと、行ってみればどっちが正しいか分かるからと行きました。行って驚きました。警官隊は皆ヘルメットを被っています。学生も凄いです。プラカードの竹の棒の先が尖っている。カードを叩き割れば竹槍になり、それを持って突撃する。けが人が出るのは当たり前です。学生の中で突出している奴が飛び出して行って機動隊の車の前に横になって逮捕され、それが元でそんな人柄ではなかったのに左の方に行ってしまう、卒業が遅れ、やっと卒業して医者になったが哲学に凝り、坊さんになって、最後は自殺しました。そのデモを煽った奴を知っていますが、大学教授になり、民主党の政治家になり勲章を貰っている。そういう奴は陰に隠れて絶対捕まりません。世の中まともに見ているのが良いかというところではなくて、私は斜めに見ていたから良かったが……。私は砂川闘争に行ってこれはドッチもドッチ、俺はやめたと帰って来ました。その時親父にももの凄く怒られました。

よく読み、よく聞く：

若い皆さんに教えておきたいのはプロパガンダに毒されない、時勢の中にも正しいものと何十年か後に否定されるものがある。それを嗅ぎ分けるコツを

養って欲しい。そのために色んなものを読まなければならないし聞かなければならない。中に正しいものと必ずしも正しくないものがある。これを皆さん方60才、70才になって考えて下さい。

以上

質問：従軍慰安婦について朝日新聞が誤りを認めたのに未だ言っている人がいるが？

斉藤ドクター：軍医で中部支那に行っていた自分の兄と話した事があります。軍医であるので慰安婦を診ています。軍が戦争に行った時、そこで性病を貰ってくるのが困る。性病を患うと戦争に影響してくる。そこで軍医は慰安婦を検診して梅毒や淋病などの性病検診を1週間に1回検梅します。その時の売春婦は殆ど日本人。少し朝鮮人もいたそうです。彼らは高給取りで、日本人は士官用、下士官は朝鮮人と決まっています。値段は倍違う。軍医は毎週会うので色々話をする時がある。彼女たちは郵便貯金を一杯持っている。客から貰う金の半分は業者が取るが、彼女たちは半端じゃない貯金を持っている。日本人の給料の何十倍です。しかしその金を故郷に送れない。

「軍医さんは休みの時町に出た時に郵便局があったらこのお金を故郷に送って欲しい」と頼まれる事がある。その額を聞いたら当時の学校の先生の給料が百円足らずの時に何百円です。決して一方的なものでなくて合意の上(昭和33年まで売春制度があった)でした。お金がない家の子供達を集めた事は事実ですが総て商取引。その中には兵隊と心中した例もありました。決して一般的愛情がなかった訳ではない。

勝ち戦の時は良いが、負け戦の時は彼女たちも死んだ例はあった。ただし中国大陸では勝ち戦でした。その他のアジアや島では負け戦でしたが……。勝ってる時は兵隊と一緒に付いてきた。ナポレオンの戦の例では軍隊の後に売春婦が付いて歩いて来るんです。子供を背負って、鍋・釜持って軍隊には付きもので、彼女たちには稼ぎ時なんです。

日本に従軍看護婦はいましたが従軍慰安婦は絶対いなかった。それを戦後造語したのが朝日新聞です。

以上